

広報レシビ

あさひ希望の里 調理師 木村康紀

りんか 「さつまいもの輪掛け」

熱々もおいしく、冷めてもおいしい旬の素材を是非味わっててください。調理時間(約25分)



- 【材料】
・鳴門金時など細めのサツマイモ 約400g
・上白糖・三温糖などお好みの砂糖 約200g
※コツ 砂糖は3回に分けて入れる

- 【作り方】
①サツマイモは2cm幅に皮付きのまま輪切りにして水に浸し、1分程でザルに上げます。
②ザルに上げたサツマイモを鍋に移し、ひたひたの水を注ぎ入れ中央の弱火にかけます。
③表面に少し火が通ってくれば分量の3分の1の砂糖を入れて煮ていきます。
④煮汁が飛んだ所にもう3分の1の砂糖を入れてシャモジでやさしく混ぜからめます。
⑤糸が引いた様な感じになれば最後の3分の1の砂糖を入れてからめていき、砂糖が銜色になりサクサクとツノが立ってくれば出来上がり。

わが街 お店探訪

Toronto 夜遅くまで営業していてリラックスできる 素敵な空間の理美容室

ヒューロン族の言葉で“人が集まる場所”の意味を持つトロント。名前の通り居心地のよい空間で、朗らかなご夫婦との会話も楽しいところです。定休日は月曜でなく火曜日、営業時間は23時までといったところまで心遣いされています。リラクゼーションメニューもおすすです。



所在地：大阪府大阪市鶴見区緑4-1-11 第2三友マンション1F
TEL：06-7161-0047
営業時間【平日】13:00~23:00 【日曜日】10:00~20:00
定休日 火曜日

すみれ乳児院 職員募集

こどもが好きで、家事ができる方歓迎！5年前に新築したばかりのきれいな乳児院です。初めての方にも働きやすいように、やさしく丁寧に援助させていただきます。
(非常勤職員)
■仕事内容：社会的養護に関わるこどもの養育支援など
■給与：法人規定に準ずる
■勤務時間：夜勤を含む変則勤務 シフト制 ☆7時間勤務 休憩1時間
■勤務日数：週5~6日
☆資格：保育士または看護師
(パート職員)
■仕事内容：こどもの世話と掃除・洗濯等
■給与：時給 992円以上 ■交通費：規定に準ずる
■勤務時間：15時30分~19時30分(月~日まで)
■勤務日数：週1~4日以内

大阪福祉事業財団 2022職員募集のご案内

大阪福祉事業財団では、2022年4月採用の正規職員を募集しています。子どもから障害者、お年寄りまで幅広い施設があります。いのちと健康を大切にする、人とひとのつながりを大切にする仕事をともに作り上げてくださる方をお待ちしています。

くわしくは、法人のホームページ、またはお近くの大阪福祉事業財団各施設へ

みんなの力で平和と福祉ゆたかなまちをきずこう
しあわせ

発行日 2021年 秋号
社会福祉法人 大阪福祉事業財団
(障害児入所施設) 豊里学園
(障害者支援施設) あさひ希望の里
(乳児院) すみれ乳児院
発行責任者 豊里学園 園長 山中 ひろみ
大阪市旭区太子橋 1-16-24
TEL: (06)6951-2066 FAX: (06)6951-2541
豊里学園 URL http://toyosatogakuen.com
あさひ希望の里 URL http://asahikibunosato.com
すみれ乳児院 URL http://sumirenyuujiin.com



2019年第40回あさひ福祉まつりの様子

これからも 平和で福祉ゆたかな まちづくりを
毎年10月第4日曜日
に開催していましたが「あさひ福祉まつり」ですが、今年も昨年につ

開催すること難しい状況でしたが、今年は感染防止対策を徹底しながら、初めてリモートも活用して実行委員会を開催することができました。実行委員会のなかでは、「なんとか開催できないか」「やはり開催は難しい」「公園でたくさんの方が集まるのが難しいのであれば、なにか別の取り組みができないか」と検討を重ねてきました。しかし、大阪でも四度目の緊急事態宣言が発令されるなど、新型コロナウイルス感染症が拡大・深刻化しているなかでの開催はやはり難しいとの判断となりました。

あさひ福祉まつり 中止のお知らせ

これまであさひ福祉まつりは、秋のひとつき、たくさんの方のご協力をいただき、まつりの会場に来ていただいた地域のみなさまとともに平和と福祉について学び、交流する機会として大切に取組んできました。これから平和で福祉ゆたかなまちづくりをめざして、あさひ福祉まつりが開催できるように力をあわせていきたいと思っております。

(あさひ福祉まつり 事務局長 松木)



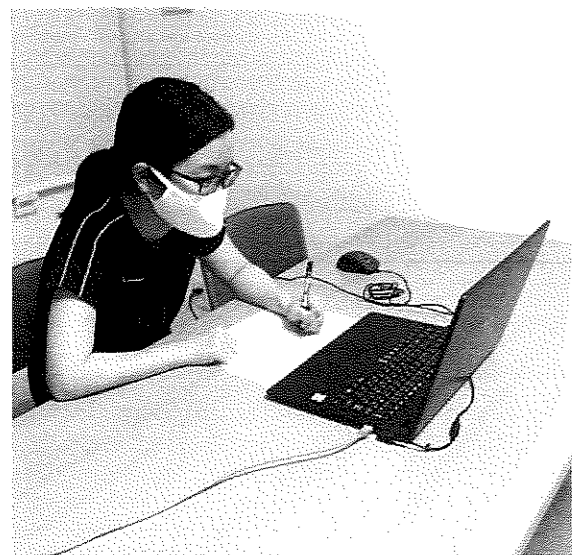
第40回特別企画

秋といえば「食欲の秋」、食べ物おいしい季節です。さつまいも、梨、栗、かぼちゃ、サトウなど旬の食材がたくさん出回ります。私は特に芳醇な甘みとみずみずしさがいい旬の梨が大好きです。様々な品種の梨を買ってきて、味の食べ比べを楽しんだりもしています。また、ワイン好きの方には待ち遠しい「ボジョレヌーボー」の解禁日も毎年11月の第三木曜日にあります。なかなか外食が難しい昨今ですが、自宅でもおいしい旬の食材で秋の味覚を楽しみたいですね。

(吉岡)

季薫

秋といえは「食欲の秋」、食べ物おいしい季節です。さつまいも、梨、栗、かぼちゃ、サトウなど旬の食材がたくさん出回ります。私は特に芳醇な甘みとみずみずしさがいい旬の梨が大好きです。様々な品種の梨を買ってきて、味の食べ比べを楽しんだりもしています。また、ワイン好きの方には待ち遠しい「ボジョレヌーボー」の解禁日も毎年11月の第三木曜日にあります。なかなか外食が難しい昨今ですが、自宅でもおいしい旬の食材で秋の味覚を楽しみたいですね。



日本は今年で76回目の終戦記念日を迎え、平和の祭典と称されるオリンピックの開催地にもなりました。しかし今もなお世界各地で戦争は起こり続け、多くの市民が犠牲になっています。

先日、沖縄平和のオンライン学習会に参加し、沖縄で平和ガイドをされている平地輝明さんにお話を伺いました。1944〜1945年に起こった沖縄戦では、住民を巻き込んだ地上戦があり、13〜70歳を過ぎた方々も根こそぎ動員され県民の約4人に1人が亡くなられたそうです。この沖縄戦により1千人以上の孤児が生

沖縄へ想いをよせて

また、終戦後も沖縄ではアメリカ兵による少女の強姦殺人事件や、F100戦闘機の墜落事故など罪なき子どもたちの尊い命が犠牲になっています。

講義の中で平地さんがおっしゃられた「平和の敵は無関心である。戦争の敵も無関心である」という言葉は、戦争を経験していない私たちへのメッセージだと感じました。自分には関係のないことだと様々な問題から目を背けるのではなく、実際に現地へ赴き沖縄戦の歴史や肌で感じたことを子どもたちや地域の方に発信し、みんなで議論していくことが未来を考えるとつながると思えました。

(嫁兼)

ご寄贈・ご寄付ありがとうございました

(敬称略・順不同)

豊里学園

(寄付)
平野貴之、上田幸康

(寄贈)
寺尾修、三和商事(株)松村有格、大阪農業青年クラブ、オリックス宮内財団、(株)大納言、(株)エストラスト(竹田)、井原直美

すみれ乳児院

(寄贈)
堺谷哲也、佐伯知衣子
「大阪急性期総合医療センター」 水野山本允子、阪神阪急百貨店労働組合 山本史子、山中正則、小山貴夫、岡本の米屋 田中峰子、P&Gジャパン合同会社

月間「福祉のひろば」購読のお願い

あなたも研修所の会員になるとともに学び研究し全国の環(わ)をつくりませんか。全国各地の実践や社会福祉・社会保障の最先端情報が満載の月刊誌です。福祉を守り発展させるためにともに学びあいましょう。

1冊：550円 年間購読：6600円

お申し込みは

お近くの大阪福祉事業財団 各施設へ
ご希望の方には、見本誌をご用意しております。

後援会入会のお願い

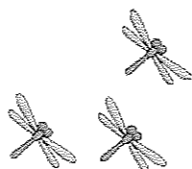
大阪福祉事業財団後援会では、施設利用者と地域の方々の生活と権利を守り、発展させていく事がますます重要になってきていると考えます。

子供からお年寄りまですべての人が守られる社会福祉の実現に向けてご協力・ご支援をお願い申し上げます。

個人会員：1口 3,000円
団体会員：1口 10,000円

お申し込みは

お近くの大阪福祉事業財団 各施設へ



すみれ乳児院では、子どもたちに家庭的な雰囲気でも過ごしてもらいたい思いから、朝食は保育士職員が毎朝作っています。ご飯の炊ける匂いや、作っている音や姿を見て起きて来る子どもたち。お腹空いたと言いたそうな顔をして「今日は何か？」と聞いてきます。「今日はおにぎり」と答えると、笑顔で「やったー」と喜んでくれます。子どもたちは職員が作る、出来



毎日食べているお米は、地域のお店から配達して頂き、食べやすく、やわらかい食感のお米を季節ごとに選んでもらっています。他の食材は極力国産のものを使用し、子ども達が安心安全に食べてもらえるよう工夫しています。(大西)

家庭的な雰囲気の中でおいしい食事を

子どもたちの楽しみ！を職員の手で

夏思い出にしたい

新型コロナウイルスの感染者数増加の為、今年も夏休みの恒例行事、キャンプ等の中止。また、子ども達と一緒にご飯を楽しむことが難しい現状、調理職員が考えた、ご飯を目の前で作る「ライブクッキング」を予定していましたが、実現できませんでした。そんな中、子どもたちを楽しんでもらいたい！という職員の思いから、園内で「豊里学園祭」を開催しました。ボールすくいや射的等、お目当ての景品を目指して奮闘！楽しんでる様子に職員も嬉しくなりました。様々なお店がある中、子どもたちが最も

楽しみにしていたのはお祭りのご飯です。普段は切ったある胡瓜が一人一本、丸かじり！他にはポテトや焼きそば等をお腹いっぱい食べました。感染対策の為、縮小した形ではありましたが、子どもたちにとっては、いつもとは違う夏の思い出になったと思います。一日も早くコロナが落ち着き、子どもたちと共に、美味しいが五感に触れる日がきますように。(小幡)



食中毒予防の学習と食に関するクイズ大会

利用者にとって「食」は1番の楽しみと言ってもいいほど関心の高いものです。食材をスーパーに買いに行き自炊される方もいます。賞味期限の見方や保存方法など、食中毒の予防について厚生労働省のビデオを観てみながら学びました。クイズ大会では、司会者や出題者なども役割分担し、わかりやす

い3択問題や〇×問題などに挑戦。調味料の「さ・し・す・せ・そ」が全て言える方もいれば、自信满满に「す」は「すいか!」と答え、「それ調味料ちゃうわ」と突っ込まれても笑顔いっぱい問題に挑戦している姿が印象的でした。クイズは少し難しくても参加できない方も野菜や食材などの映像や写真に興味を持っておられ、みんなが楽しい、またやりたいたいと思えるような取り組みとなりました。(葛城)

